

2014 年度乳房再建用エキスパンダー/インプラント年次報告と合併症について

2014 年使用分（1月から12月分）の年次報告対象となった乳房再建用エキスパンダー実施施設 450 施設、および同インプラント実施施設 424 施設からの年次報告結果（とくに合併症について）については下記のとおりとなります。

エキスパンダー

再建の種類	症例数	合併症数(率)	うち抜去・入替を要した症例
一次再建	3733 件	276 件(7.4%)	112 件
二次再建	1017 件	36 件(3.5%)	22 件
計	4750 件	312 件(6.6%)	134 件

合併症の内訳（312 件中、重複あり）

感染	135 件
皮弁(創縁)壊死・創離開など	82 件
出血・血腫・漿液腫	52 件

他に、腫瘍再発や疼痛のため抜去、エキスパンダー破損、など

インプラント

再建の種類	症例数	合併症数(率)	うち抜去・入替を要した症例
一次一期再建	489 件	23 件(4.7%)	14 件
一次二期再建	2730 件	46 件(1.7%)	16 件
二次再建	1035 件	20 件(1.9%)	9 件
計	4254 件	89 件(2.1%)	39 件

合併症の内訳（89 件中）

感染	39 件
術後血腫・出血など	13 件
皮弁（創縁）壊死・創縁離開など	10 件
位置異常・回転など	8 件

他に、疼痛、被膜拘縮、露出、rippling(波打ち変形)など

総じて合併症発生率は許容範囲内と考えられるが、エキスパンダーにおいては、今後感染・皮弁壊死に対する対策を講じていく必要がある。インプラントについては今後拘縮など晚期合併症の報告増加が予想されるため、経過観察が必要である。

（文責：朝戸裕貴）